

新宮山彦ぐるーぷ第1865回
行仙宿屋根塗装下検分と巡回及びモノレール取扱主任者講習会

◇実施日：平成28年4月8日(金)～9日(土) 薄曇時々晴
◇参加者：三井幹雄・大前 茂(屋根塗装下検分)；1泊2日)。

9日先発；川島 功、児嶋道夫、生熊敏男、中前 偉
濱野兼吉。後発；沖崎吉信、畑林秀味、山上皓一郎、
玉岡憲明、玉岡 明、梶野照雄、豊嶋 寛、竹中佐一、
上平一郎。
16名。
(株)カマハラテック講師；澤井氏、東海氏。

三井さん勤務の会社では、工事終了後にペンキが残り廃棄処分しているとの事から、現在行仙宿屋根のペンキ塗替えをする時期にあり、処分ペンキを提供して欲しいと要望していた。

トタン屋根のペンキは、相性があり塗ってもかえって剝がれ落ちるとの職人さんの指摘があり、専門家と一緒に検分する為に、兵庫県佐用町から来宿して下さった。

8日15時過ぎに行仙宿着。水汲みに行かれ宿泊され、9日朝からトタン屋根を検分して下さった。

東側は、日光の暴露により劣化が診られ、早く塗替えた方が良く2度塗り。又、行者堂の屋根の苔等の清掃除去を勧められた。後日、検分結果を報告して下さるそうです。

23日に電源開発(株)橋本流通事業所から定期寄贈の缶パン・飲料水・木炭・ガスカートリッジに今回、笠捨山撒き道(旧通信道・鉄塔巡視路)補修用の鉄杭60本を寄贈・荷上げて頂いた。

25日に会友2名から寄贈現物を確認した旨の連絡があり、御礼の電話をした、荷は荷上げした状態で宿内外に置かれていた。

30日に行仙宿巡回をされた玉岡相談役から荷は適切に処置するよう指摘があり整理の為、新宮先発組は日足で中前車(5名分乗)へ乗換える。

毛布2枚・チエーンソーオイル(3ℓ)を担ぎ9時過ぎに、行仙宿へ。

三井さん達は、屋根の点検を終え梯子を降りられる時だった。寄贈缶パン・飲料水等は、先出し出来る様に缶パン・飲料水箱に寄贈年月を記して、管理棟へ移管する。鉄杭は、奥駆道沿いの北側から東側軒下に移管。

東側の水槽は、栓がなく水が溜まってない、青木氏が調達するはずと・・・台の上にゴム栓があり、はめ込むと小さすぎる。計測指示した川島の計測間違いで合わなかった様で本当に申し訳ない。

東側水槽への樋受けが外れかけており修復して頂いた。
三井さん達は、遠路帰宅となるため、10時半前に戸締りをして一緒に下山。



樋受け修復中



三井さん達と



モノレール前で

13時からのモノレール取扱主任者講習会には、玉岡、山上さん達が来られると伝えると、三井さんは折角だから逢ってから帰ろうということになる。11時頃に下山して昼食。

12時前に(株)カマハラテック・講師の澤井、東海氏が到着され、事前に試運転された後、車内で昼食。

13時前には、造林山主の上平一郎前村長も参加。

講習参加者の顔写真を撮り、資料に基づき、動力車(1人運転・荷500kg以下)の概要説明・始業前点検・ディーゼルエンジン始

動運転操作・運転時の注意・積載時の注意・安全上の注意等の講義と質疑応答が約25分あり、参加者の約半数が実機運転を体験した。浦向道分岐下迄約8分。

三井さんも講習に参加し13時半過ぎに帰宅。

沖崎、豊嶋、竹中、畑林氏(車回送)は、明日の持経宿へ前鬼間春季点検巡視のため、池原公園15時に瀧本氏他女性2名と塩川君が合流し、持経宿泊のため14時過ぎに下山。参加者全員は、沖崎車(8人乗り)で持経宿に送り、畑林氏が沖崎車を回送し帰新。梶野氏は、行仙宿の水槽栓計測にあてにならないと、ノギス持参で行仙宿へ。



モノレール前にて

13/16人の受講者

動力車の保管停止地は、林道横では盗難・いたずらも想定され、水場上の段差材等の置場前に変更する事にした。

動力車・座席には、ビニールシートカバーを被せているが、防水性の高い覆いをする様に推奨された。

設置に伴い周辺の整理、整地、排水溝底ざらえ等の作業をする必要がありますので御協力して下さい。

行動タイム

新宮 7:00→8:30 行仙登山口 8:40→9:15 行仙宿 10:20→10:55 登山口(昼食)→13:00 講習会 14:35→16:10 新宮。 (記 川島)